

面白かった。
非常にためになりました。
継続していくことが重要であると心に響いた。
本日は素敵な講演をありがとうございました。
話し方、速度がとても聴きやすかったと思います。
知行合一で自分自身を深めていく事が大切だと分かった。
自分の立場でもこれから何か変えていきたいと思いました。
これから少し自分も勇気を持って飛び込んでいこうと思った。
今後も長く看護師をやり遂げる為に沢山のヒントを頂きました。
私も納得するケアを目指したいと思いました。ありがとうございました。
これから様々な経験を通して、自分としての軸を持ちたいと思います。
専門職として使命を学びました。自分に何ができるか考えて行きたい。
実学を語れる人間になれるよう人としての学びを積み重ねて行きたいと感じました。
患者さんに対して“どうしてあげたいか”という気持ちを常に持って働きたいと思いました。
心に響くフレーズが多くあり、私の心が“かっか”と燃えてきました。ありがとうございました。
「問題解決のできる人」になれるよう今日のお話を病棟へ持ち帰り皆で共有したいと思います。
何か一つ自分の軸となるものを大切にしながら、患者さんのために仕事をして行こうと思います。
貴重な講演ありがとうございました。とても感動致しました。今後活かしていきたいと感じました。
この辺で良いではなく、一流を目指す、最善を尽くす、決めるのは自分自身だという事を感じました。
心に沁みた沢山の御言葉ありがとうございました。学んだ事、看護につなげて行きたいと思います。
皮膚科医がこれだけ深い人間的洞察力をもって診療にあたっていることを知り、大変感激致しました。
一人一人の患者さんと向き合うことの大切さを学びました。患者さんを知ることを努力しようと思います。
できない、と始めから諦めず何か出来る事はないか、と探していく姿勢を保っていくことが大事だと思った。
医療を通じた精神・人間性のお話は大変興味深く感銘を受けました。貴重な講話をありがとうございました。
自分が変わらなければ何も変わらない、腹をくぐることの意味を考えさせられました。ありがとうございました。
「努力して年をとった人はいない」印象的でした。努力して自分磨きをしようと思います。ありがとうございました。
諦めず患者の力を信じて関わることの大切さを実感しました。信念を持ち貫いている姿はすごいと感激しました。
自分の根っこは何か？それをどのように大きくしていくか考えていきたいと思います。今日はありがとうございました。
自分が患者さんの役に立っているか？どうやったら役に立てるのか？日々考えて働こうと思いました。とても面白かったです。
お話の言葉一つ一つが“自分自身を振り返りました”とまで咀嚼はまだ出来ないが、どれも重みを持って受け止めることができた。

<p>患者さんとしっかり向き合うこと、こうしたい、こうしてあげたい、こうなって欲しい思いを伝え、納得した上で看護に結び付けていきたい。</p>
<p>とても良い学びでした。皮膚科の先生のイメージは…でしたが、先生のように熱い先生がいらっしゃるということにとっても嬉しく思いました。</p>
<p>見えている部分(知識・技術)を支えている人格・人間性をもっともっと膨らませることが本当に大切だと感じた。とても分かりやすかった。</p>
<p>沢山の名言、心に残る言葉ありました。その言葉を流さず、一つ一つ考えて自分の生き方に加えて考えられるといいなあ、と思いました。</p>
<p>足りていないことに関して、周りにどうアプローチして患者さんと信頼関係を築いていけるか、自分でやれることを探していきたいと思います。</p>
<p>自分は日々、自分の足りなさを感じ、とにかく行動することが大事と実感しています。自分で考え行動することで人の役に立ちたいと思います。</p>
<p>現場で起きている事象を前にすると、小手先だけで問題解決しがちですが、本質を常に意識しながら向き合っていく必要があると感じました。</p>
<p>患者さんと真摯に向き合いながら諦めず知識や技術、そして、人間性を高め学び向上し続けよう！と元気を頂きました。ありがとうございました。</p>
<p>「看護の本質」に照らしてみた時に「ほんまもん」であるかを自分自身に問いながら、謙虚に、でも精一杯の努力をしていくことが大切だと学びました。</p>
<p>陰と陽の話が印象的でした。コツコツと自分の課題に取り組む事、表面だけではない真のことに向き合う視点も持たなければならぬと思いました。</p>
<p>「知識」と「技術」が「人格」と「人間性」が備わって初めて生きる、ストーンと落ちました。人格形成、人間性を磨くことが大切だと再認識致しました。</p>
<p>実際に持っている知識を臨床で使っていかなければ意味がない、とのことで、実学を日々学びつつ臨床の場で使っていかなければならぬと思いました。</p>
<p>今の現状に満足せず、患者にとって納得いく医療・看護が提供できるように自己成長し実践で生かせるような行動力を身に付けて行きたいと思いました。</p>
<p>限られた時間の中で生産性を生み出せるようにしたいと思う。とても勉強になりました。ありがとうございました。プロフェッショナルとは何かを知ることができました。</p>
<p>日々起こる事象に対して、日々関わる目の前の患者に対して、自分自身がどう反応、そう対応していくか、その時の自分自身の判断や思いを大切にしていきたい。</p>
<p>親しみやすく分かりやすかったです。患者さんの納得を得るということは難しい面もありますが、何においても納得の上ケアが提供できるよう心がけたいと思いました。</p>
<p>患者・家族は納得を求めると言葉が心に残りました。医療の中で、まだまだ説得が多いと感じています。“納得”がなければ患者中心にはならないと思えます。</p>
<p>これまでの考え方、これからの自分の生き方を考えさせられた。悔いのない人生を送りたいと思った。皮膚科医の凄さ(情熱、忍耐力、継続性)を知ることができた。</p>
<p>自分の枠を取っ払う、新しいことに少し背伸びをして挑戦するなど、今の自分に必要な内容が盛り沢山の内容でした。沢山の勇気をもらいました。ありがとうございました。</p>
<p>日常生活の中にも見方を変えるだけで意味や自分が生きている価値が見えてくる気がしました。今までの人生の過程を少し振り返り、自分を見つけて行きたいと思えます。</p>
<p>ずしっときました。患者さんとの信頼関係のことは自分も勘違いしているかとも思います。自分が患者さんに提供していることに納得が得られているかを考えていきたいです。</p>
<p>“病気”として外見だけを見るのではなく、全体を見て内側にも問題がないか見るのが大切だと感じました。看護師として何ができるのか、もっと深く考えて行きたいと思えました。</p>
<p>自分自身の日々の看護や新人指導に活かしていきたい貴重なお話でした。経験を重ねるだけでなく、人間として本質を磨き、患者さんの納得のいく医療を提供していきたいです。</p>
<p>時間(生きている時間)を人の役に立つように使っていないといけないと感じました。これだけは、という自分の強みを高めて患者さん(人)の役に立つ医療者でいたいと思えます。</p>

<p>自分が体験したことを次へのステップアップにすることで問題解決につながる。現状を見つめ変化させるためには、自ら行動を起こさなければ変化しない、ということが良く分かりました。</p>
<p>貴重な講演をありがとうございました。講演の中で多くのキーワードがあり、これからゆっくり思い返してゆきたいと思います。自分がどこを向いて日々生きているのか、前向きになれそうです。</p>
<p>自分のために…ではなく誰かのために自分に何ができるのかを考え続けることが大切だと学びました。その時、その時の関わりを大事に丁寧なすることで“納得”“信頼”が得られると思った。</p>
<p>90分があつという間でした。これから仕事に対してどのような姿勢で取り組んでいくべきか、とても考えさせられました。どの言葉も深いものでした。本を読んでもう一度振り返りたいと思います。</p>
<p>皮膚を診ることで身体の異常をあぶり出す事ができることに驚き、患者さんの全身状態を観察する時には症状だけではなく、皮膚状態にも注目していこうと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>常に患者さんの思いに寄り添い、患者さんが何を求めているのかを考え治療に取り組む姿勢、言葉一つ一つが心に響き、日々の自分のありようを振り返る機会となりました。ありがとうございました。</p>
<p>「知行合一」という言葉が胸に響きました。知識だけではなく、行動に移す事の大切さを実感しました。先生のご講演を聞き、とてもユーモアに溢れる内容で分かりやすいお話であったと思いました。</p>
<p>責任を持って関わっていく重要性を感じました。医師・看護師では行う事、立場は違いますが、納得のいく医療という点では共通するところだと感じました。本日は本当にお話ありがとうございました。</p>
<p>様々なキーワードが出てきて自分の中に響く言葉がありました。看護師も一生学ぶことであり、人生も仕事も今の現状に満足せず、より良くするために考え学び続けることが大切なのだと思います。</p>
<p>患者・家族へ、納得できるよう歩み寄ることの大切さ、当たり前の事が本当に大切なことだと身に沁みる思いだった。様々な言葉を自分の物として語られていることで講演会を楽しく聞くことが出来た。</p>
<p>準備が大事という言葉が心に響きました。能力・知識を身に付けても活かす事が出来なければ意味がない。活かすも殺すも自分次第…。今は講演を聴けて元気が出ました。ありがとうございました。</p>
<p>いっぱい良い言葉だなんて思う話がありました。全体的に難しい言葉ではなかったし、笑える部分もあつてお話聴きやすかったです。今日は参加してよかったなんて思えました。ありがとうございました。</p>
<p>知識、技術だけでなく、柔軟な思考、創意工夫、ユーモアを持って看護をしていきたいなと思いました。本日は先生の熱いお考えを学び、自分の今後に活かして行きたいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>事例から治療のプロセス、大事な事の本質をお話して頂き、やはり学ぶのは患者さんからであると思いました。様々な言葉もあり色々な視野から考えることができて楽しかったです。ありがとうございました。</p>
<p>逃げたい、辛いことも沢山ありましたが、今までの経験が今の私にどう活かされているのか、どんな意味を持つものだったのか、単なる経験で終わらせず経験値として積み重ねていける様に頑張りたいと思います。</p>
<p>“まだまだ頑張ろう！”と思える貴重な御講演を聴講させて頂き、ありがとうございました。明日から無理するだけでなく、目の前の患者に出来る事は何か、自分の能力の向上、等々に励んで行きたいと思いました。</p>
<p>先生の強い信念にただ驚くばかりでしたが、根本に様々なバックグラウンドがあることも分かり、自分も考え方を変えて今いる環境に甘んじることなく成長していきたいと思えるようになりました。ありがとうございました。</p>
<p>例えがとても分かりやすく、内容がスッと入ってきました。聞きやすかったです。知識を活用する、相手を思う気持ち、等もっと若いスタッフ(看護師、医師、コメディカル)に沢山知ってもらいたい内容だと思いました。</p>
<p>人間力、この先自分がどのようにその力をつけてゆけるのか分かりませんが、知・技・そして人間力をつけてゆけるよう私も学生達から逃げずに仕事に対しても逃げずに進んでゆきたいと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>先生の講演を聴き、医療者は知識・技術はもちろんですが患者さんと信頼関係を築く上では人間性も欠かせないということを感じました。医療の知識のみではなく幅広い知識を身につけて人間性を高めていきたいです。</p>
<p>考えさせられる言葉が多くありました。目の前に起こっていることはもちろんですが、自分の幹を太くしていき、自分が常に成長・学習し続けて行けるよう日々を大切にしていきたいと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>信頼感＝責任であり、人に振らず自分で責任を持って信頼感を取り戻すことが大事という点が勉強になりました。「経験値と人間性は努力しないと身に付かない！」ということを中心に置いて現場で働き続けたいと思いました。</p>
<p>経験・技術が高い＝出来る人ではなく、患者の役に立つこと、人間性が豊かなことが大事、ということが心に残った。指導者として技術的な介入ではなく、人として患者さんから求められる後輩を育成できるようになりたいと思う。</p>
<p>成功した事例に人は固執しやすい、という話を聞いて、私にも思い当たる所があった。人を相手にしているからこそ、以前別の人で成功したことが今回も成功するとは限らない。臨機応変に対処することが必要だと思いました。</p>

<p>身に沁みてさらなる努力をしたいと感じた。問題発生の根本策を考えていくこと、自分の役割を認識し努力することが大切であると認識できた。先生の講演を聴き、大切な要素を学んだような気がします。ありがとうございました。</p>
<p>先生のお話を聞いていて、“そうか！こういうことか！”と納得することが多くありました。患者さんとの関わりの中でも、信頼関係を築く際に大切な表現する力をこれからさらに訓練していきたいと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>とても刺激を受けました。「できない理由を探すのではなく、どうしたら出来るかを考える」や「他責ではなく、結果は全て自分の行動の表れ」という言葉が胸に突き刺さった。常に頑張るのは難しいが、時折思い出し頑張りたいと思った。</p>
<p>自分から踏み出し自分から学んでいくことを心がけ、学ばせて頂いている環境に感謝し、看護というものを日々考えていきたいと思いました。患者さんに合った行動を臨機応変に行っていく力を身に付けていけるよう頑張っていきます。</p>
<p>ご講演ありがとうございました。今回の講演の中で数々の名言が出てきましたが、医療者、看護師として働いて行く上で資格を持つ“プロ”として、失敗を恐れずに患者さんの役に立てるようになりたいと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>医療者が思っているより治療を期待するがん患者さんの思いを尊重しながら、納得し望む時間を過ごせるよう患者と一緒に考えていきたいと思えます。無理と思わず、どう工夫したら叶えられるか考え見つける事を諦めず続けて行きます。</p>
<p>先生の講演をうかがって、自分には嘘はつけず、自分が後悔しない生き方、仕事の仕方を見つけて、真剣に生きていくことの大切さを感じました。基本はやはり、人としてどうしていきたいか、どう人と向き合っていくか、が大切だと思いました。</p>
<p>講演を聴き考えさせられました。医療は先生の言われるように人間性・人格がポイントだと思う場面がとても多くあります。患者・家族が現実を受け止め納得していける信頼関係を持てるよう最善な看護を医療を目指していきたいと思えます。</p>
<p>納得＞治癒、知識は人格のある人に備わって生きる、など心に残るキーワードが沢山ありました。私は後輩育成に関わる人が多いですが、近年は、「患者さんの為に」「継続して」「努力して」という“志”自体が少ない人が多いように感じます。</p>
<p>「ほんまもん」になるには、失敗と屈辱を繰り返し経験して、その努力の先に少しだけの光が見える。この光を見つけたくて、また努力する。コツコツ頑張ろう…、いや、コツコツじゃなくて、一生懸命頑張ろうと思いました。「己の義」は何かを考えます。</p>
<p>人や自分でも目に付き、精神的にも大きく影響する皮膚疾患も多いからこそ、皮膚科医や医療人には安心して任せられる人間味が必要だと思いました。また、常日頃から自分で変えたいと意識しなければ人間性は簡単には変わらないと思いました。</p>
<p>やりたいことをやりたきや「力」をつけること！人は追い込まれないと伸びない。いつの頃からか「頑張らない」ということがいいことという風潮が必要以上に強くなっている気がして、教育の現場で悩むことが多かったので、今日の講演は“納得”でした。</p>
<p>分かりやすかったし飽きずに聞くことができました。普段から患者さんとの信頼関係について考える事がありますが、友人関係とはき違わないようにというところに共感しました。手術同意ではなく納得できる、安心できる環境、整えが大切だと学びました。</p>
<p>医師の講演と言うと専門用語を多用した難しい内容である事が多いですが、分かりやすくユーモアも交えて話を下さったので、90分があつという間でした。誰(医師・看護師)に出会うかで患者さんの人生は本当に大きく左右されるなあと思いました。</p>
<p>今回の講演会を通して多くの事を学ぶことが出来ました。特に印象的な事は「人間性」と経験はリンクしないという所です。やはり自ら努力して向上させるしかないと感じました。貴重な講演ありがとうございました。患者さんと向き合っていきたいと思えます。</p>
<p>何とかしてあげたいという思いが知識・技術を高めて行くという言葉が印象的でした。始めるのに遅いという事はにないと思えますので、目の前の患者さんのことを考えて学び行動できるよう努力していきたいと思えます。本日は大変にありがとうございました。</p>
<p>時間のなさ、精神的な辛さからの逃げとて自分の今後の進む道、キャリア形成がつかめず悩んでいました。しかし、今日の講演会で何か一つでも極める事柄を見つけることから始めてみようと思いました。今の状況から逃げずに少し頑張ってみようと思えます。</p>
<p>ユーモアを大事に考える事に共感を持ってました。普段の出会いや自分との向き合い方で意味を見出し、モチベーションにつなげ、逃げずに向き合う姿勢は見習おうと思えます。自分のやる気にしていきます。人間力、人間性について考える機会となりました。</p>
<p>“知識は教えられるけれど、活用は教えてくれない”という言葉が心に残りました。後輩を指導する時に知識や方法は教えられるけれど、それを後輩がどのように自分のものにして行くかは、自分で考える、その方が身に付くということなのではないかと感じました。</p>
<p>大変勇気を頂いた講演会でした。自分の目指すことをコツコツとやり続けることは、とても大変だと感じる日々です。だからこそ、患者さんや家族の方を中心に、どうあったらいいのかとチームで協力して考え実践していくことを頑張っってやって行きたいと思えます。</p>
<p>先生の医師としてのエネルギーを少し分けて頂きたいと思いましたが、自分自身で前進するしかありません。頭が一杯になりましたが、「最初のペンギン」目指してみるのも考えてみます。これからの仕事、人生に活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。</p>

<p>今回、岸本先生の講演会を聞かせて頂いて、今の自分の努力はまだまだ足りないと感じました。患者さんが納得できるために何が出来ることはないかと考えながら関わっていかれたらと思います。そのための人間力を磨いて行きたいです。がんばっていいと思いました。</p>
<p>何かに取り組んだり、改革したいと考えた時に、出来ない理由ではなく、出来る方法を考えようとしていますが、やはり苦しさや大変さに怖気づく自分がいます。岸本先生の強い信念は、全てのことを同じようには出来ませんが、自分自身を振り返るきっかけになりました。</p>
<p>先生の技術習得には、本やマンガ、ドラマからの知見をご自身の経験の中で照らし合わせて、自分自身の言葉で語れるまで落とし込みされているのだなあと思いました。今は世の中に沢山のKnow How本がありますが、この結び付ける感覚がすばらしいなあと感じます。</p>
<p>何かに取り組んだり、改革したいと考えた時に、出来ない理由ではなく、出来る方法を考えようとしていますが、やはり苦しさや大変さに怖気づく自分がいます。岸本先生の強い信念は、全てのことを同じようには出来ませんが、自分自身を振り返るきっかけになりました。</p>
<p>完治が必ずしも患者にとってのゴールではないのだと、この講演を受けて気付かされました。完治はそもそも医療者側の目標であって自己満足でしかないのだと思いました。大事なものは、患者と家族が何を望んでいるのか、それにいかに向き合うか、なのだと思います。</p>
<p>問診を聞く事の大切さは、看護で言えば、どんな生活を送っていたか、情報をしっかり取っていくことが大切だと思います。意思決定支援は、現状を理解し、どう生活するか、納得して治療していくことなので、とても良く理解し必要性を実感しました。ありがとうございました。</p>
<p>治らない疾患であったとしても医療者は目の前にいる患者さんの苦しみをまず理解すること、人と人との関わりである人間学について考えさせて頂く講演会でした。専門職者として自分のビジョンを明確にし、働いていこうと思える機会となりました。ありがとうございました！！</p>
<p>日常の中に出てくる一つ一つの言葉の中には大きな意味があるものもあるのだと感じました。自分の見ているもの、行っていることに対して意味があるんだと意識を持っていきたいと思いました。新しいことを始めてみなければ、新しいステージへと進む事はできないと感じました。</p>
<p>人間は年齢や経験の年数は勝手に取って行く、取るけれど、内容・中身がどうであるのかは努力や自分の考え方で大分違うのだなと思いました。病院や病棟は人によって変わるというのは日々実感する所はありました。自ら発信して受け身にならず努力することが大切だと思います。</p>
<p>患者さんが求めることというのが、納得できるかどうかというのは、本当だなと感じる。日々、患者さんが訴えることがあるが、その訴えの中には必ず意味があったり、真意が込められている。話をしてしっかりと患者さんと向き合い、患者さんが納得できるように対応していきたいと思った。</p>
<p>目の前にいる患者さんに寄り添い、その方のために何とかしたいと思う心が大切であり、諦めないこと。自分は本当にその人の為に何か役立たせて頂いているのか、常に考えていきたいと感じました。誠実に、そして事実を見極め、最善を尽くしたいと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>色々な言葉の事例を使いながら伝えて頂いたので、言葉の意味がすんなりと自分に入ってきて分かりやすかったです。とても考えさせられました。患者さん・家族に納得してもらえらる看護をしていきたいし、日々、努力しながら、学び続けながら、日々を楽しく過ごしていきたいと思います。</p>
<p>看護でケアできることも多いと学びになりました。先生のように出来ないと思うのではなく、出来るために何をするかという事を大事にしていきたいです。患者・家族の求めるものは完治ではなく納得！！まさにこの事を知っていく事で信頼関係となると考えました。ありがとうございました。</p>
<p>私達、日々、ビジョンを持ちながら働いていますが、現実とのギャップで、ため息が出てモチベーションが下がる日が続きます。しかし、先生がおっしゃられるように「だめだ～」ではなく「どうすれば良くなるのか」とポジティブに物事を考えることで道が開けると感じました。ありがとうございました。</p>
<p>しんどい時ほど他人のせいにしたくなるが、問題を解決したり現状を良くするには自分にベクトルを向け、自分の中の解決法を考え自分を強く持てるようにならないといけないと思った。どんな状況下であっても「何とかしてあげたい」という思いとその思いを軸に行動できるようにいたいと思う。</p>
<p>“「悲痛さ」を「ユーモア」に変える”という言葉がとても印象に残った。病院は「悲痛さ」がメインになるが、入院中の患者に少しでも入院生活を楽しんでもらうことで治療力が高まるのではないだろうか。一つの笑顔を生み出せるように、日々の看護に活かしていきたい。本日はありがとうございました。</p>
<p>知識・技術ばかりを磨くのではなく、今、目の前で困っている辛い思いをしている患者さんのために全力を尽くせる看護師でありたいと思います。今後の地震の看護観、相手・患者さんを理解する共感、寄り添えるだけの人間観をしっかり身につけていきたいと感じました。講演ありがとうございました。</p>
<p>先生の話聞いて、環境のせいにはいけない大事さを感じました。まず自分に「力」をつけることが大事だということを中心に刻んで仕事をしたいと思いました。また、今日先生が講演して下さった患者さんと向きあえる心を持って患者さんの求める事は何か、問いながら関わっていきたくと思いました。</p>

<p>90分興味深く聴かせていただきました。毎日、業務をこなして家に帰って寝て、私は何をしたいのかなーと自問自答することがよくありました。思ったのと違う…は、自分で変えていけるのではないかと、患者さんの為にそれが役立っていけるんじゃないかと、明日から少しワクワクです。ありがとうございました。</p>
<p>講演を聴いて一番感じた事は、先生の患者に対する熱い想いです。患者の病状完治を目指すのはもちろんであるが、患者・家族が“納得”できる関わりが出来る事、患者の背景を大切にされていると感じることが出来ました。日頃の患者の皮膚の訴えにもう少し寄り添い看護していきたいと思えます。</p>
<p>仕事に向き合う時、これぐらいが限界かなと自分の中で線を引いてしまったり、新しいことに取り組まなければならないのに現状維持に甘んじたりしていると思います。自分自身で考え行動していけば何でもできる、結果はすぐに出ないけどとにかくやってみよう、とうい思いになりました。ありがとうございました。</p>
<p>情報という言葉をよく使っているが、“人のこころの知らせ”と言われ、私は自分の欲しい事だけを聞いていて、本当に患者さんの言葉を聞いていたのか？と恥ずかしく思えた。また、経験年数を重ねるのではなく、経験値を高めていけるよう努力していきたい。皮膚科は、とても奥深いもので楽しい！と思えました。</p>
<p>患者さん、家族との信頼をどう築きあげていくのか、そのためには今の自分をもっと出来る事を本気でがんばることだと思いました。根拠を知るための情報をどれだけ丁寧に的の当たったものでとれるのか！この事を明日からすぐ実践したいと思えます。先生の熱い情熱にやる気を頂きました。ありがとうございました。</p>
<p>一人でも多くの患者さんを良くし、患者さん本人が納得して安心して治療を受けられる環境があるんだなと感じ勉強になりました。患者さんが信頼を寄せて治療に臨めるようにするには、まず自分自身が患者さんを良くしたいと思ったら得た知識を臨床で生かせるよう行動に移していく必要があると実感しました。</p>
<p>本日の講演を聴いて身が引き締まる感動がありました。岸本先生の患者さんに向き合う姿勢、知行合一の考えで実践されている素晴らしさを知り、患者さんの満足度が高いことが納得できました。私も看護師として職業を選んだ以上、患者さんのために真剣に向き合うことの意味を改めて考えることができました。</p>
<p>人にはそれぞれの出来る事があるんだと気付かされ励まされました。準備がすべてというお話は本当にそうだと思います。自分も周りもしっかり整えて患者さんに向き合うことが大切です。毎日同じであって毎日同じではないので、しっかり患者さんの小さな変化に気付く力をつけたいと思えます。ありがとうございました。</p>
<p>印象に残る多くの言葉がありました。自分自身と向き合い、自分自身が悔いなく…やるべきことをやること、これからの生き方に活かしていきたいです。患者さんへ良い医療を提供するためには、自分だけでなくチーム全体が共に成長していかなければならないと思えます。そのための自分のあり方も考えてみたいです。</p>
<p>若い患者さんでも友達ではない「信頼」でつながるという意味はとても勉強になりました。患者さんに喜ばれることが大事だと再認識しました。生産的知識を意識するというのも今まで思ったことない視点だったので、して行きたいと思えました。患者さんの役に立つ人間性のある対応をさらに深められるようにしたいです。</p>
<p>“やり抜くこと”“信念・知恵を絞り抜く”“上手いかなかったのは自分の「願い」「信念」が弱かったと思え”等々、心に響くキーワードでした。また、先生の全ての事柄に意味を追求する、考える姿勢がすばらしいと思えました。医療人としての責任、弱さと向き合い決して屈しない！！「知行合一」肝に銘ぜねば…と深く思います。</p>
<p>患者が求めるものは「納得」に納得しました。自分自身が納得できるように自己を高めることができた者こそが、他人を納得させられる真の力を持っているのではないかと感じました。私自身も明日から頑張らなければと思えました。常日頃、私が考えていた事を、このように講演されている方がいらしたことに感激しております。</p>
<p>講演を聴いて、日々の自分のあり方や患者さんへの関わりを振り返り、まだまだ努力が必要だと感じました。知識・技術力をつけようといつも思っていた自分がいました。この知識・技術力をつけるだけでなく、どう使うか、とあまり考えた事がなかったので、良い機会となりました。自分を磨くためにさらに努力して行こうと考えます。</p>
<p>既に決められている治療や方法のみに頼るのではなく、患者さんの苦痛を聞き探し当てられるまで悩みながら、その人に合った方法を選択していくことが大切だと思えました。また、成功は簡単じゃないけれど、失敗から自分自身が何を学び、次にどれだけ生かせるか、それが大事であり成功につながるのではないかと感じました。</p>
<p>私はあまり精神論は好きじゃないですし、休みも欲しいです。でも、先生がおっしゃっていた「周りがどうかではなく、自分がどうありたいか(自分責任論)。環境・条件の悪さを嘆く暇があれば、その限られた条件の中で自分に何が出来るのか考えた方が良い」という所は腑に落ちました。キラキラしている自分でいたいなと思えました。</p>
<p>無理をするという言葉聞いて、今の自分は無理をしていないと思えました。毎日の業務をひたすらこなしていき、満足しているような状態です。これからは少しずつ出来る事を増やしていきたいと思えます。人間性を高めるためにはもっと努力しないといけないということが分かりました。これからは頑張ります。ありがとうございました。</p>
<p>とても興味が重なるお話を聞いて幸運でした。岸本先生の人間学とは、高い志を持ち、自分を信じて希望を持ち続けるということでしょうか？逆境こそがスイッチということでしょうか？年を取るほど元気になる人もいるという言葉がエネルギーにつながりました。岸本先生にはどうかことそのまま頑張ってください。応援申し上げます。</p>
<p>いかに問診が大切か。確かに皮膚科のカルテは数行。薬、軟膏を処方されて終了…という印象があります。しかし、先生のカルテには経過や家族背景や仕事やキャラクターなども含め問診を行い、治療、そして説明、患者との信頼関係を築いていく事がとても大切だと実感しました。看護も似ていると思えました。ありがとうございました。</p>

<p>医療の場面では大変なことが多いけど「人の役に立つ」という喜びがあることが事実であり、質の良い医療を提供するのは“人材のレベル”なのだと聞いた時に、人を育成する重要性を感じることができました。私は歴史小説が好きなのですが、織田信長や吉田松陰の話にも興味が深まり、何事からも学べる！と感じることができました。</p>
<p>患者さんと接する上で大切な事は「納得」であり、相手の心をとらえることであると聞き、これからの患者さんとの関わりを大切にしていきたいと思いました。また、「納得」できていないと、改善している患者様からも苦情が来ると聞き、確かに！と思ったので、私たち医療者からの立場でなく、患者さん側の考えや思いを大切にしていきます。</p>
<p>やはりプロになるには「努力」、それも自分が考えている以上の「努力」が重要であることを実感しました。何とか解決するにはどうしたら良いのか、粘り強く継続した努力が重要で、努力だけでなく、ちゃんと成果につながる努力をしたいと思います。何か、久しぶりに後ろから押された気分です。ありがとうございました。素敵な言葉がありました。</p>
<p>患者の求めることは完治よりも納得であるということがとても印象的でした。常に学ぶ姿勢と患者さんの役に立ちたいという思いが大切だと改めて思いました。私自身、いつも知識と技術が必要だと思い、後輩にも言っていますが、それを生かすための人間力も大事だと感じました。いろいろな患者さんのケースを見せて頂き、ありがとうございました。</p>
<p>情報を取り、患者さんを毎日、目の前にして自分自身尾考え方や仕事、育児での自分の姿勢、行動をどう取るべきか、とても深く考えさせられるお話でした。患者さんとの関わりで患者さんの思いを大切にしつつ納得できるような介入、看護実践していきたいと思います。常に自分自身のあり方を見つめ直し、行動を起こせる人間になりたいと思います。</p>
<p>自分も医療に関わる者として、先生の言われた信頼関係を作るの意味と大事さを確認いたしました。相手が苦しんでいる時こそ近づき関わり続ける事は、覚悟と勇気と忍耐が必要であるとも思いました。人間は不完全で、どんなに学んでいても不足があるということを実感して日々自分の役割と向き合い生きていきたいと思っております。ありがとうございました。</p>
<p>医師も看護師も患者さんを診ることが大切だと感じた。患者さんの為にコメディカル全てが協力していきたいと思っております。患者さんが納得できるようにしていくこと、支援していくことが自分達の役割であると思っております。患者さんととても真摯に向き合っていると感じ、やはりそのことが信頼関係を築き、治療が思うようにいなくても納得につながっていくのだと思っております。</p>
<p>何かを始めて、それを継続していくことはとても大変なことです。でも、その継続が誰かの役に立つと思って行っていることは凄い事だと思いました。自分が行っている看護ケアも意味があり継続することにより患者さんの役に立つ、継続していくことが大切だと学べました。とても勉強になる講演会でした。ありがとうございました。本日のお話を病棟で生かしていきたいです。</p>
<p>「無理をする・させられる」ことは、努力して結果を出す・期待されているということだと学んだ。病院の印象や患者と医療者との信頼関係など、私達一人一人の対応によって変わると思った。患者さんが安心して治療を受けられるよう毎回の関わりを丁寧にやって行きたいと思った。診療科に関わらず患者さんの訴えをしっかりと聞くことが基本として重要であると思った。</p>
<p>貴重なお話ありがとうございました。自分の生き方について考え直す機会となりました。先生のお話は分かりやすい例が多くてとても聴きやすかったです。患者にとって治るかではなく納得できるかが大切だということや、単なる知識ではなくそれが人の役に立っているか、生産的知識かが大事だということが特に印象に残り、明日からの看護につなげていきたいと感じました。</p>
<p>患者さんと接していく中で、情報を取るという言葉をよく使う。データとして残していくものという認識が強かったが、人のココロの知らせという言葉にハッとしました。心の知らせという認識になれば、患者・家族が今何を思っているのか、何を感しているのかを考えて接していくことが大切だなと感じた。経験年数だけが重ならないよう、日々学習から逃げないよう努めたいと思った。</p>
<p>様々なキーワードが心に響いています。私達の仕事は人間を相手にしています。看護師は優しさだけでは信頼はゼロです。知識、技術、そして相手の立場に立ち臨機応変に対応していくことが大切です。先生の話聞いて、どこかで諦めている自分に気づき、今日から努力すること、出来る事からやっていくことを感じました。時折、マンガの話や語録ができて楽しく聞けました。</p>
<p>貴重なお話どうもありがとうございました。看護師経験年数だけがどんどん増えていって自分はこのままで大丈夫なのか？知識はあるのか、など悩むこともありますが、人間性を磨くことで患者さんへフィードバックできると聞いて、これから私も人間性を磨こうと思いました。また患者さんが求めていることは“納得”とのことで、本当にそうだなあと思いました。臨床に生かして行きたいです。</p>
<p>いろいろな偉人やマンガ、有名人の名言から今の気持ちだったり、医療者の思いだったり、患者の思いを表現しているのが意外であり、こんな所に良い言葉があるとは思っていなかった。内容も面白く表現してくれて分かりやすかった。ただ無駄に年数を重ねないようにしようと思った。悲痛さをユーモアに変える。発想の転換をして大いに成長していけるように努力していきたいと思った。</p>
<p>アトピーを患っている患者さんに対し、しっかりその患者さんと向き合って解決できるように関わる姿にすごく感動を得ました。患者さんと向き合うにあたって、結果はどうであれ、それまでの過程が大切と学んだ。私も患者さんと心の会話を大事にして関わっていきたくと思いました。先生の講演内容がとても楽しく釘付けになってしまいました。もし、また講演があれば是非参加したいです。</p>
<p>何が患者様のためになるのかを常に考え、今のままで良いのか、と探っていくことが大切なのだと感じました。当院看護部目標の中にも、停滞は退歩と捉えて常に進歩することが大切であるとありますが、先生のお話の中にも通ずるものがあり、心に残っています。そのためには、自分だけでなく周りも同じ目標に向けてありたい姿を描きながら成長できるような組織でありたいと感じました。</p>
<p>アトピー性皮膚炎への取り組みは大変興味深かった。医師としての強い使命感が、患者さんの症状改善につながっているのだなと感じました。誰のための医療なのか、今一度、自身に問わなければならないと思いました。今回のお話は、日々のマネジメントにおいても共感できるお話がたくさんありました。一生勉強、その努力が実ることを信じて内省して前進！を続けて行きたいです。</p>
<p>先生の講演を聞いて、自分にしかできないこと、自分らしい看護を自分で考えながら、“患者さんに悪影響を与えないように”ではなく、患者さんが自分と関わることで“良かった”と思えるような良い影響を与えられるようなNslになりたいと思いました。誰かの真似をしながら働くのではなく、積極的に最初のペンギンになれるように少しずつ考え方を変えていけたらと思いました。ありがとうございました。</p>

<p>本日は貴重なお話をありがとうございました。日々、迷いながら自分を見失いそうになりながら仕事をしているので、心に刺さる言葉が沢山ありました。患者さんのために何が出来るのか考え、本質を見極めて逃げずに責任を果たすこと、やっていきたいと思えました。看護師として幹を太く豊かなものにしていけるよう、小さな変化に気付いて感性、目線が持てるよう、日々成長していきたいと思えました。</p>
<p>原因自分論と環境の性にしないというお話が印象に残りました。楽な方に流れて行くことは簡単なので、先生の講演を思い出して自分に問いかけていこうと思いました。また、患者が求めているのは完治ではなく納得であることも、これまでの多くのケースで感じてきた違和感であり、このことだったのかと振り返りました。押し付けにならず、患者家族が何を求めているのかを考えて支援していきたいと思えます。</p>
<p>患者さんが完治を希望していることはもちろん十分理解しているが、そうならなかったとしても心が満たされ納得が得られる関わりができていくか、という側面を重要視していきたいと感じた。また、年を重ねるとそれだけ人間力が高まる訳ではない為、後輩や患者さんからも学ぶことは多くあると思うので、そういったことを常に念頭においておきたいと考える。貴重な講演をありがとうございました。楽しい時間でした。</p>
<p>分かりやすく楽しい講演ありがとうございました。私は小児科を経験し、小児が局所麻酔でやるなんて考えられませんでした。しかし、色々、工夫する事で患者さんに負担なく手術に臨む事ができるのだと思えました。そう出来るのは、十分に患者の状態アセスメントし準備し処置を考えた上なのではないかと思いました。患者さんのために何が出来るか、もっと自分自身、自己研鑽しなければならぬと実感しました。</p>
<p>淡々と話されている内容は、とても情熱に溢れていると感じました。ストイックに色々なことに真剣に取り組んでいるパワーが凄いと感じました。自分も色々失敗を繰り返して落ち込んでいることが多かったと思いますが、一つ一つの失敗を積み重ねていく中で自分の成長につながるようになって行きたいと思いました。ありがとうございました。また、先生のお話を多くの方々にも、もっともって聞いて頂きたいと思いました。</p>
<p>先生の話聞いて、楽になる部分とともって無理しなくてはいけないのだとプレッシャー両方が生まれました。患者が求めることが完治ではないという事が印象に残りました。実際に現場で直面している事そのものだからです。まず完治せず、ずっと付き合わなくてはならない疾患の方ばかりなので、今の現状、周りの人との関係など全てに患者自身が納得できるように、どう支援できるかを考える必要があると思えました。</p>
<p>本日は講演ありがとうございました。講演会の時間が短く感じる程、大変引き込まれるお話でした。自分自身の事に置き換え、考えさせられる事が多かったです。自分の知識を患者さんに話すだけでなく、どう生活していけば良いか一緒に考えられるよう患者さんの生活を知り、何とかできることを探していきたいと思うようになっていました。今までの経験を人として成長をしてつなげられるのは自分だと感じました。</p>
<p>今日の講演会はとてもおもしろかったです。先生の講演を聞いて、最近の自分はどんな風に患者さんと関わってきたかな…と振り返りました。どんなに忙しくても逃げに走らず、自分のできることをするNslになれるよう考えを改めたいと思いました。私たちが関わる患者さんが少しでも納得して治療を受け、入院期間を過ごし、退院に迎えるよう病棟に帰ってから「無理したい」と思いました。本当にありがとうございました。</p>
<p>先生の講演を聴かせて頂き、自分の仕事に対する姿勢を改めて見直す機会を頂いたような気がします。日々の仕事の中で上手いかなと、状況のせいにしてたり、環境のせいにしてたりしていたことが多かったように思います。やはり、人のせいにするのではなく、自分に出来ることは何かを考えていくことが大事だと思います。また、知識は人の役に立つためにないとダメという言葉も心に響きました。ありがとうございました。</p>
<p>本日は様々な話題に触れながら人間性や生き方について色々と考えさせられた時間になりました。内容が膨大過ぎて全てをすぐには吸収しきれないと感じていますが、共感できる部分がたくさんありました。理解するだけでなく、いかに納得できるか、そこには信頼がなくては心にまでは届かないと思います。何が「ほんまもん」かはまだまだ探している所ですが、いつか「ほんまもん」に近づけるようになりたいと思えます。</p>
<p>素直に、岸本先生に出会えた患者さん達は、本当に幸せだと思います。世界中の医師が岸本先生のような志を持って患者に接する事が出来たら…病気になっても克服出来る患者さんが沢山沢山沢山沢山出て来るんじゃないかと思えます。その為にも、是非これから医療界を目指す方々や若い医師・看護師・コメディカル、多くの人達に先生の講演を聴いてもらいたいと思えました。本日はありがとうございました。</p>
<p>先生のおっしゃる通り、話してくれている本人にはなれないけれど、どこまで相手の思いに寄り添えるのが相手との距離を縮めることになると思うし、私が話し手に、「自分のことを分かってくれようとしている」と思ってもらえることが出来れば、それが信頼関係の第一歩になるのではないかと思います。そういう意味でも、私の「人間学」を深めていきたいと思えます。私が理想とする看護師になれるよう、頑張りたいと思えます。</p>
<p>成功体験も一つの大切な宝物としながらも、その事に捉われ過ぎず、患者・家族の個別を捉えた個々への看護の大切さを理解した。また、患者・家族の信頼を得るためにも自分で出来る最善の事を考え、本気(強い意志)を持って関わって行く事を大切にしたい。患者の思いに寄り添い、望む生活に近付けてこそ、患者・家族を支えて行くことだと思う。看護において軸をぶらさず、今後も続けて行く努力をしたいと思う。</p>
<p>先生のお話で印象的だったのは、患者さんに納得して治療に取り組んで頂くことの難しさと大切さでした。患者さんは一人一人違うので、その都度アプローチも変えなければいけないのですが、先生のお話からは一人一人の患者さんに真摯に向き合われて、それに取り組まれている姿勢を感じました。私も同じ医療者として患者さんにとっての「最初のペンギン」になれるよう日々学びを得ることを忘れずにいたいと感じました。</p>
<p>患者さんと向き合う時に自分自身の信念だったり、勇気だったり、努力だったり、自分自身をもう一度振り返りたいと思えました。何の為に成長したいのか、努力する必要があるのか、日々働いていると迷ってしまうことがあります。弱い自分に勝たなくてはいけないということに、凄くはっとしました。まずは、自分自身が努力して人間力を上げていきたいと思えます。何の為に看護師になったのか、もう一度考えたいです。ありがとうございました。</p>
<p>患者さんとの信頼関係が大切だと実感することができました。自分の人間性がしっかりしていないと患者さんと良い関係は築いていけないと思ったので、まずは自分の人間力を磨いていきたいと思えます。マニュアル通りの治療をしないという言葉に、私たち看護師も、この疾患だからこういう看護をするという考え方ではなく、その人の身体、心、社会に応じた個別性をしっかり考えていこうと強く思いました。本日の話しを生かしていきたいと思えます。</p>

看護が楽しかったはずなのに楽しくない、環境のせいにして自分自身から逃げていました。今日、岸本和裕先生の講演会を聞き心が救われました。絶対このままでは終わりたい、今の自分から脱出したいと思っていましたが、気持ちの切り替え方が分からず疲労困憊でした。自分自身に甘えず客観視する、できない自分を真正面から受け入れ問題解決に取り組む姿勢を忘れず明日から生きていきます。本当に本当にありがとうございました。

「人間学」⇒医療に関わらず自分が生きて行く上で大切な言葉を沢山いただきました。先生の話して下さる中身には本当に日々の業務の中で感じられることがあり、興味深く聴いていました。今、知識はあっても活かし方の分からないスタッフが多いと思いました。まずは自分に力をつけて、自分自らが患者の心を知ることができるようになり、後輩に伝えて行くことが出来るようになればと思いました。何をしなければいけないのかが良く分かりました。

「治らない」からではなく、「納得できない」からドクターショッピングをするというのは、周りの患者さんの様子を重ねると、よく理解できました。医療者としてしっかりと患者さんとその家族と向き合えることが大切だということが分かりました。「医療＝医学＋人間学」と本の中にありましたが、アトピーの患者さんら先生の医療を信じて、結果、良くなったのは、患者さんとしてしっかりと向き合ったことの結果であり、その向き合いには人間学が必要であるのかなあと感じました。

本日は器用な講演をありがとうございました。日々、色々なことにぶつかり思い悩みながら仕事をしています。時々、本当に辞めたくなることもあります。今日の講演の中にもあった「困難に向かって諦めない気持ちを持つこと、継続していく力をつけること」を心に刻み、これからも前を向いて患者さんのために看護師として力をつけていきたいと思いました。常ならぬことが世の常であるということをお忘れず、日々努力していきたいと思っております。ありがとうございました。

患者さんは症状が出現し、それをどうにかしたいと思い病院に相談しに来ているため、医療者はしっかりと患者さんと向き合い、考えることが必要であると思った。その時の対応等、医療者の一人一人の行動が患者さんとの信頼関係を築く重要なポイントになることを学ぶことが出来た。検査等、患者さんへは一つ一つ丁寧に説明し、患者さん本人・家族が不安なく安心して検査に臨めるよう関わることを忘れずに一回一回の関わりを大切にしていきたいと思った。

人と向き合う事を、臆せず、諦めず、勇気を持ってされていると感じました。そして何より、それを楽しんでいるように感じました。自分を磨く事は、インプット、アウトプットの繰り返しであると思ひ、やって来ましたが、喜びにつながる事は一部であると感じます。しかし続けている自分を見てもよいと思ひました。なぜ苦しい事も継続し、逃げ出したい時も乗り越えられたのか、何のために自分がやって来たのか、その時の気持ちを大切にしていけるようにしてみようと思ひました。

「最初のペンギン」というと、とても大きな事に挑む時に使う言葉だと思っていた。日々の中でもファーストペンギンでいることが出来るんだと気付けた。「知行合一」難しい言葉で何のことか分からなかったが、先生がマンガから学び自己の仕事へ変換して話して下さったことで、どんな事柄からも自分の考え、意識の向け方、学ぼうという姿勢を持つことで、自己の知識となり行動することが出来ると思ひました。仕事だけでなくプライベートでも活用したいです。ありがとうございました。

知識も技術も大切ですが、最終的には人間性と感じました。自分の仕事との向き合い方を振り返り、ハッとさせられることが多かったです。その瞬間、瞬間でスイッチが入る事はありますが、それを継続する為には何の為に自分はこの仕事をしちえるのか、という事を強く心に持っていないければ、と思ひました。病歴聴取とは心の声を聴く事という言葉が心に残りました。全人的に患者さんを見るという看護で大切にしていることに通じる気がしました。貴重なお話をありがとうございました。

日々働く中で与えられた事をこなすということにならず、一人一人の患者をきちんと看ること、そして患者の求めていることに看護として出来る事を一つ一つ丁寧に実践していくことで、患者のニーズに添えていこうと思ひます。また、そのためにも、さらに知識・技術を身に付け、日々の患者との関わりや看護を振り返り、その学びを次へ活かしたり、患者やその家族との関わり、職場の人、それ以外での人との出会いを大切に、知識や技術以外に人としての成長にもつなげたいと思ひます。

最初のペンギンになるために、自分自身、その勇気とやり遂げるための責任感が足りないのだと感じました。忙しいから、時間がない等、言い訳や理由をつけ自分を正当化して逃げるのではなく、患者さんのために何が出来るか、自分に出来ることは何かを常に考えながら自分の行動を選ぶことが大切だと考えさせられました。どのような状況でも自分で生き方を選択できること、まだまだ自分に出来ること、やっていないことが沢山あることに気付かされた時間でした。ありがとうございました。

患者さんのために、どれだけ必死に、どれだけ熱意を持って看護をしているだろうか…と自分自身を振り返りながらお話を聞かせて頂きました。失敗を怖れて一歩踏み出せず、何の変化もないまま時間が過ぎていってしまっている…少し後悔の気持ちも生じましたが、今から真剣に考えていきたいと、少しモチベーションが上がりました。今を大切に全力で生きれるといいな、仕事に向き合えるといいなと思ひます。今出来る小さなことから一つずつ向き合っていきたいです。ありがとうございました。

本質を見失わない為にもコツコツと努力が必要であり、自分の出来る事をやり遂げたいと思ひました。なりたい自分や目指すことに近付けるように、もっと自分も頑張らねばと思ひます。患者さんがどれだけハッピーになれるか、快復できるようになるかは、信頼関係の上に成り立つのだと思ひます。“納得する”に関しては、患者も自分も納得しないと前に進めないと感じました。自分のほんまもんを探しながら、患者の為になる看護を目指していきたいと思ひます。おもしろい90分でした。楽しかったです。

皮膚病変から生活の様子が浮かび上がり、心の様子や生活の乱れに対する介入の必要性が見えてきます。まさしく“心の知らせ”として変化を情報としてキャッチできるかという専門家としての脂質を問われていると感じます。信念を持って孤独な中でも努力されて来たからこそ、語られる言葉に重みを感じられるのだと思ひます。“継続は力なり”と言いますが、持続させる力はどこから湧いてくるのでしょうか。ナイチンゲールも“停滞は退歩”であると言っています。少しずつでも前に進んで行けるように精進したいです。

深いお話でした。「最初のペンギン」は、自分の信念をしっかりと持ち、行動(責任を持って)しなければいけないと思ひました。色々な例えなどがあり、すごく面白いお話が沢山ありました。グループで成功するためには、同じビジョンを持たなければいけないとか、日々感じていることも多々あり、とても面白かったです。患者さんの求めるものは「納得」に納得です。確かに良くなっても良くなるなくても患者さんが納得していれば平穏だし、納得していなければ不満が起こるし、色々勉強になりました。ありがとうございました。

“仕事の仕方、良くも悪くも自分次第で変わる”分かっているもなかなか出来ないものです。自分を奮い立たせ頑張るしかない。しかし、目標・ビジョンがあれば、それも乗り越えられるかもしれないと思ひました。“ピボット”私も大事だと思ひます。学んだことを現場で活かす。患者の辛い思いに耳を傾け、それを何とかしたいと思ひることが自分自身の成長にもつながると考えさせられました。患者の納得のいく治療・ケアをすることが一番求められていることを思い知りました。振り返るととても良い機会となりました。ありがとうございました。

人として成長し続ける継続性、探求性が大切だと思いました。それを実現するためのポイントをいろいろな言葉で感じました。先生のような熱い思いを持ち、相手のために自分に何ができるかという情熱がある医療者は少ない現実があります。何のために医療をやっているのかをもっと学生のうちに感じ取れるようになることを基礎教育の中に組み入れられるようになって欲しいと思います。今の医学会の体質から脱却し、互いに患者のためになること、自分の知識・技術向上を迫るだけにならない世の中になって欲しいと思っています。

興味深い講演ありがとうございました。普段、知識・技術を教えています、知識と技術は身に付けても、その使い方を教わっていないだけで活かし方が分からなければ何も意味がないため、先輩方がどのように活かしているのか、自分がどのように活かすことが得意なのか把握しておく必要があると感じた。“友達関係”と“信頼関係”は異なるという話を聞いて、本当にその通りであると感じた。自分が患者さんと仲良くなったと思っても、その患者さんが本当の気持ちを自分に話してくれるとは限らず、信頼関係は別物であるため、今後意識していきたい。

自分が学んだことや習得した技術は自分の力になっていくため、その力をまず身に付けて仕事をしていく。ただ、その力を持っているだけで活かし方が分からなければ何も意味がないため、先輩方がどのように活かしているのか、自分がどのように活かすことが得意なのか把握しておく必要があると感じた。“友達関係”と“信頼関係”は異なるという話を聞いて、本当にその通りであると感じた。自分が患者さんと仲良くなったと思っても、その患者さんが本当の気持ちを自分に話してくれるとは限らず、信頼関係は別物であるため、今後意識していきたい。

日々わからないことが多く新しいことを実践することに怖いと思いながら実践することがある。それによってミスが起きた時に次に実践するのが怖くなってしまいがちであるが、今日の講演を聴き、「最初のペンギン」のように何事も恐れずに取り組むことの大切さが分かった。同時に、取り組んだ後にはしっかりと努力をして自分の見になるように努めていきたいと思った。岸本先生の勇気と努力、患者さんに対する姿勢を見習って自分も患者さんのために全力を尽くせる看護師になりたい。先生の講演を聴くことができ本当に良かったです。ありがとうございました。

ご講演ありがとうございました。久しぶりのカウンターパンチでした。日々、様々な事が発生し、安定や平和を望んでしまいます。「完治よりも納得」を求めている患者・家族がいることを理解し、医療の現場に立てている医療者がどのくらいいるのか、と自分自身に言い聞かせる、考える場となりました。人材のレベルで提供できる価値が決まることも納得できます。「最初のペンギン」になること、そのために必要な事をしっかり考えて実行することが…難しいですが、人の役に立てるようになりたいですので、動かしありません。人間学、臨床学…いい仕事ができるよう全身したいと思います。

日頃、患者さんのため、患者さんが快復するためには、または、安心・安楽に過ごせるには、どんな看護が必要なのかを考え提供してきましたが、どこか自分達の自己満足でしかなかったように感じました。快復すること、安楽に過ごせることは、もちろん、患者さんや家族にとって良い事ではある。しかし、それ以上に患者さん・家族が納得して治療や看護を受けられる事が安心や安定につながるのだと認識できました。また、患者・家族が納得できる看護を追求し提供することをして行きたい。失敗を恐れず、失敗から学ぶ姿勢を常に持っていきたい。さらに、後輩へその姿勢を見せ、学んでもらえる存在でありたいと思いました。

ご講演ありがとうございました。講演の内容は、共感、納得できる言葉が沢山ありました。患者の求めているものは「完治」ではなく「納得」であるということ、「信頼の獲得は科学(医学)では不可能である」ということなど、“結果”よりも“関わりのプロセス”が重要であることを再認識しました。「戦ってしかるのちに勝つ」より「勝ってしかるのちに戦う」ことの有意性も日々感じていることです。準備の大切さを感じています。患者にしても医師にしても、また看護師同士でも「臨床は人格と人格のぶつかり合い」の中で、知恵と責任感と人間性をうまく発揮させて、より良い自分とより良いチームになることを目指して行ければ良いと思いました。

先生のお話をうかがいながら、私は日々患者さんと向き合っているのか、スタッフと向き合っているのか、自問自答していました。知行合一の精神で繰り返し学んでいくこと、最初のペンギンになってスタッフを導いていくことが今の私に必要なのではと感じています。短い時間で高い生産性をあげないと新しい時間は生み出せない。新しい時間を生み出さないと自分の時間は作れない。忙しさを理由にしてはいけない、まずは行動に移していきようと思います。症例を通じて先生の患者さんへの向き合い方、カスタマイズされた治療は、本当に患者さんを思っているのオンリーワンの精神であり、我が病院の「病気を診ずして病人を診よ」に通じていると思いました。

日々仕事をしていても何だかしっくりしないところがあった。年齢や忙しさに追われてどんどん自分に甘くなってしまっていた。私はやっぱり勉強して患者さんへのケアする力を高めたいので繰り返し努力していこうと思えた。知ったことをケアに生かして世の中に役立つナースになりたい。また「仕事は心です」と言う事が、先生の話からとてもよく分かりました。情熱を持って「患者さんにとってどうか」と問いかけながら成長していきたい。当院でも治し支える医療を提供しているが“支える”ことが何より大切で患者さんが納得して治療するために(意思決定支援)患者に寄り添える医療人になることが大切だと感じた。成長していきたい。前向きな気持ちにさせて頂き心から感謝します。

スライドや漫画などで大切な事を解説して下さったので、分かりやすく、一つ一つ“納得”しながら講演を聞いていました。起きている症状や状況には、必ず原因がある。多くの症例のスライドを見せてもらいましたが、原因検索や自分を信じながらやり抜くことは大変な事であるが、追求して原因がわかるとこんなに患者さんの生活の質が変わり笑顔になること、大切なことを忘れていたと思った。人間学という点で考えた時に自分が置かれる状況やなぜそういうふうと言われるのかなど人間関係に悩むことがあるが、それは自分に原因がある＝原因自分論。自分に眼を向けることから避けていたり、逃げていたのだと思いました。弱い自分との闘い、今回、印象に残りました。ありがとうございました。

文章に加え絵が挿入され分かりやすく書かれていたので、私は「アトピー卒業ブック」と「アトピー実践テキスト」を購入して持っていました。アトピー患者と来院時いっしょにその本を見ながら振り返る関わりをすることで、症状が良くなり、来院ごとに笑顔も見られ、就職が決まり自宅に近い医院に戻って行きました。単に知識を患者に伝えるのではなく、患者の思いを受け止め関わって行く事が大切だと思いました。心に残ったのは人間性、経験値は努力しないと身に付かないということです。そうでなければ人の悲しみを理解することや寄り添った関わりが出来ないのだとスライドを見て思いました。今後、看護していく上で、また、人として自分はどうあるべきか考えて行こうと思いました。ありがとうございました。

日々の仕事の中で、心に突き刺さる言葉が多かった。「悲痛さをユーモアに転化させる能力」どんな理由を挙げても嘆いても事態は何も変わらないと思う。ユーモアの視点で見ることで同じ事態でも自分の心が軽くなるし、自分が変わること事態(環境)が好転していく場合が少なくないと実感している。「心を汲む問診(情報収集)」という話を聞いた時に、自分が一番望んでいたことかもしれません。そのためには「知識」「技術」よりも「知恵」「責任感」「何とかしてあげたい」という心がない限り難しいし、毎日“忙しい、忙しい”と言いながら、自分は今何のために何に努力しているのかと考えさせられました。でも、辛い日々の中でも全てに意味がある、ムダはないんだと、前向きにも捉えられるようになりました。